

ふれあひ西本郷小 令和4年度

6月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより 令和4年5月31日(火)
一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

みんなでつくろう みんなのえがお

副校長 幸保 陽子

日差しが強くなり、吹く風や草木の様子、人の装いなどにも夏らしさが感じられるようになってきました。子どもたちは、休み時間になると、校庭に出て元気に走り回っています。また、学年園の作物もぐんぐん育ち、子どもたちもその成長に驚いたり喜んだりしながら、額に汗を浮かべ世話に取り組んでいます。

さて、5月も終わりに近づいた先日の昼休み、代表委員会に参加しました。この日の議題は、『児童会スローガン「みんなでつくろう みんなのえがお」に沿った活動内容を決めよう』でした。各クラスが取り組む活動をもちより、アドバイスし合ったり良いところを見つけ合ったりしました。初めの話題は、取り上げるクラスが多かった「あいさつ」についてです。「あいさつをするときには、心を込めることが大切だよ」「あいさつをした後に一言付け加えてみると、より心がつながると思う」「他の学年や来校者の方に積極的にあいさつをしたい」などの意見がでてきて、子どもたちの思いを感じることができました。次に「相手を大切にする」という意見です。「友達を大切にするとみんなが安心して生活できる」「友達の失敗を責めない」「ほかの学年とも積極的に関わりたい」など、感染症に備えた取組が続く状況の中、友達をかけがえのない存在であると考え、相手を思いやり、進んで交流していきたいという気持ちが伝わってきました。各クラスから出てきた意見について、お互いに良さを見つけ、自分のクラスにも活かそうとする意欲的な姿が見られました。

わずか30分間の時間でしたが、その話し合いの中からいろいろな子どもたちの姿を感じることができました。特に、大人が考えている以上に子どもたち自身が気付いたり大切にしたいと思ったりしていることがあること、また、いろいろな人の立場に立って考える力が育っているということです。そして何よりも、自分の考えを伝え合い、認め合ったり、より良い考えを創り上げようとした姿がみられました。代表委員会で、このような話し合いをしている代表の子どもたちは、クラスに戻ってその力を発揮することでしょう。友達と関わり合う姿が各クラスに広まっていくのではないかと期待が膨らんだ時間でした。教職員も子どもたちの学びを支え応援し、学校にたくさんの「えがおの花」を咲かせていきたいと思っております。

暑い日が続くようになり、少し疲れを感じている子もいるようです。規則正しい生活リズムの定着や健康管理について引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。また、体調がすぐれない場合には、決して無理をせずに休養をお願いいたします。安全安心な学校運営へのご理解とご協力をお願いいたします。